

帯同審判員について

青葉繁れる好季節を迎え、ますますお健やかに過ごしのことと存じます。皆様にはいつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。さて、昨日から新年度のシャンソンカップ静岡地区予選が始まり各会場で暑い熱戦が繰り広げられた事と思います。

そんな中事後報告を受けたケースで帯同審判員として登録をしているが、審判部（杉山審判長又は横井副審判長）の知らない方、つまりは公式戦を吹いても良いと許可の出ていない未公認の方が審判を行ったと報告を受けております。

今年度からの日本公認審判新制度変更に伴い困惑している方もいるとは思いますが、ミニ連はE級審判員（現未公認）を設けない事になっております。つまりは講習会を受けても日本公認E級審判員の取得はできないと言う事です。しかしながら、静岡地区ではチームの帯同審判の育成もチームの課題としてください。と、皆様にはお話をしている以上全てにNGをだしているわけではありません。

しかし、皆様も御存じの通り帯同審判員が自チームの試合を吹くことはありません。他チームの試合を吹くわけですからコートに立つ審判員にはそれなりの責任が発生いたします。何か問題があった際、こちらで対処していく時に「知らない方が吹いたので対応できません。」と言うわけにもいきませんので、しっかりと地区の研修会に参加をし、地区審判長又は副審判長の了解を得た方のみ、公式戦を吹いていただきたいと思っておりますのでご理解ください。

試合を行うにあたって審判は必要不可欠であり、審判がいないと大会が運営出来ません。皆様が積極的に審判をやろうとする気持ちはとても審判部としては嬉しく思います。是非これからも頑張ってくださいと思います。審判部としましても研修会等を随時行って行きますので宜しく願いいたします。又、誤解がないようにお話をしておきますが、やまだ杯は昨年度講習会に参加して頑張ってきた審判員の方々の、1年間の成果を発揮する場とし、講習会に参加していただいた方はやまだ杯に限り帯同審判として認めました。

今週末もシャンソンカップは続きます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

静岡市地区審判長 杉山 基樹